

平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年8月10日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7957 URL http://www.fujicopian.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)赤城 貴太郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役常務執行役員 管理部長 (氏名)上田 正隆 (TEL)06(6471)7071
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	4,551	6.0	311	100.8	313	93.4	215	131.2
29年12月期第2四半期	4,294	1.1	154	△36.4	161	30.8	93	45.3

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 28百万円(△88.6%) 29年12月期第2四半期 246百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	140.56	—
29年12月期第2四半期	60.78	—

※平成29年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	17,323	9,993	57.7
29年12月期	17,712	10,027	56.6

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 9,993百万円 29年12月期 10,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	4.1	500	39.7	500	27.9	330	29.9	215.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期2Q	1,789,487株	29年12月期	1,789,487株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

30年12月期2Q	256,845株	29年12月期	256,675株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期2Q	1,532,724株	29年12月期2Q	1,533,062株
-----------	------------	-----------	------------

※平成29年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、29年12月期2Q期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善傾向など緩やかな回復基調が続いているものの、米国などにおける保護主義的な動きや世界的な地政学リスクの影響などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当グループを取り巻く事業環境は、主力のバーコード用リボンなどのサーマルトランスファーメディア、修正テープの市場は底堅く推移しているものの、スマートフォン・タブレット端末等の電子材料分野向けを主とする機能性フィルム「FIXFILM」の市場においては、依然として厳しい販売・価格競争が続いております。

このような環境のなか、当グループは、創造型企業としての技術基盤をもとに、新製品の開発および新市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりました。

また、サーマルトランスファーメディア、修正テープなどについては、国内外において積極的な拡販活動を展開してまいりました。

生産面におきましては、海外生産拠点であるエフシーベトナムコーポレーション(当社子会社)の活用強化による生産効率化、グループ全体でのコスト削減の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、主力製品を中心に拡販に努めた結果、45億5千1百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

利益面におきましては、高付加価値製品の販売増加およびグループを挙げた生産の効率化によるコスト削減などにより、営業利益は3億1千1百万円(前年同期比100.8%増)となりました。経常利益は為替差損の計上などがありました。3億1千3百万円(前年同期比93.4%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の計上などにより、2億1千5百万円(前年同期比131.2%増)となりました。

品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めた結果、25億8千4百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開しましたが、4億6千5百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

テープ類は、堅調な需要はあるものの、9億3千4百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

機能性フィルムは、電子材料分野を中心に拡販に努めた結果、2億3千4百万円(前年同期比27.7%増)となりました。

その他は、3億3千2百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、173億2千3百万円(前連結会計年度末比2.2%減)と、前連結会計年度末に比べ3億8千8百万円の減少となりました。これは、主に借入金の返済等による現金及び預金の減少などによるものであります。

負債は、73億2千9百万円(前連結会計年度末比4.6%減)と、前連結会計年度末に比べ3億5千5百万円の減少となりました。これは、主に金融機関への借入金の返済による長期借入金の減少などによるものであります。

純資産は、99億9千3百万円(前連結会計年度末比0.3%減)と、前連結会計年度末に比べ3千3百万円の減少となりました。これは、主に投資有価証券の時価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の内部留保などにより、5億円の収入となり、前年同期比では2億4百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより2億6千6百万円の支出となり、前年同期比では3億4千9百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出などにより6億2千4百万円の支出となり、前年同期比では5億7千9百万円の支出の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、期首残高に比べ4億1千万円減少し、54億6千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期通期の業績予想につきましては、平成30年2月14日に発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日発表の「第2四半期累計期間の業績予想数値と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,874,970	5,464,244
受取手形及び売掛金	2,534,394	2,799,920
電子記録債権	517,877	446,347
商品及び製品	518,510	545,957
仕掛品	478,777	518,384
原材料及び貯蔵品	442,871	439,963
繰延税金資産	20,927	25,765
その他	125,399	99,171
貸倒引当金	△2,948	△3,118
流動資産合計	10,510,780	10,336,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,930,882	1,903,752
機械装置及び運搬具（純額）	1,262,369	1,259,820
土地	1,679,923	1,679,923
建設仮勘定	37,982	95,558
その他（純額）	515,875	535,059
有形固定資産合計	5,427,033	5,474,114
無形固定資産		
のれん	6,783	—
その他	59,665	72,465
無形固定資産合計	66,449	72,465
投資その他の資産		
投資有価証券	1,511,347	1,282,339
長期貸付金	826	644
その他	195,907	157,509
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	1,707,981	1,440,393
固定資産合計	7,201,464	6,986,972
資産合計	17,712,245	17,323,608

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,721	591,250
電子記録債務	961,892	979,732
短期借入金	144,177	132,767
1年内返済予定の長期借入金	1,160,607	1,372,769
リース債務	110,405	113,868
未払法人税等	90,267	109,695
未払消費税等	5,723	10,124
設備関係支払手形	27,294	53,384
設備関係電子記録債務	135,408	99,364
その他	284,610	483,156
流動負債合計	3,490,108	3,946,112
固定負債		
長期借入金	2,852,140	2,130,636
リース債務	204,596	172,923
繰延税金負債	263,010	199,033
役員退職慰労引当金	122,070	132,645
退職給付に係る負債	749,068	744,496
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	4,194,698	3,383,547
負債合計	7,684,807	7,329,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,017,801	2,171,925
自己株式	△417,968	△418,293
株主資本合計	9,387,558	9,541,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	582,434	417,424
為替換算調整勘定	85,124	56,642
退職給付に係る調整累計額	△27,679	△21,475
その他の包括利益累計額合計	639,879	452,591
純資産合計	10,027,438	9,993,947
負債純資産合計	17,712,245	17,323,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,294,211	4,551,839
売上原価	3,202,285	3,266,286
売上総利益	1,091,926	1,285,553
販売費及び一般管理費	937,020	974,434
営業利益	154,905	311,119
営業外収益		
受取利息	774	623
受取配当金	18,342	23,379
保険返戻金	-	10,810
その他	12,631	8,307
営業外収益合計	31,748	43,121
営業外費用		
支払利息	17,080	14,429
為替差損	7,207	25,715
その他	413	873
営業外費用合計	24,701	41,019
経常利益	161,952	313,221
特別損失		
固定資産廃棄損	26,988	10,114
特別損失合計	26,988	10,114
税金等調整前四半期純利益	134,963	303,106
法人税等	41,785	87,670
四半期純利益	93,178	215,435
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,178	215,435

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	93,178	215,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,221	△165,010
為替換算調整勘定	43,780	△28,482
退職給付に係る調整額	8,943	6,204
その他の包括利益合計	152,945	△187,288
四半期包括利益	246,124	28,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,124	28,147

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	134,963	303,106
減価償却費	223,090	228,441
のれん償却額	13,508	6,425
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,079	1,982
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,350	10,575
受取利息及び受取配当金	△19,116	△24,002
保険返戻金	-	△10,810
支払利息	17,080	14,429
固定資産廃棄損	26,988	10,114
売上債権の増減額(△は増加)	38,316	△203,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	△98,780	△72,414
仕入債務の増減額(△は減少)	△112,263	47,755
未払又は未収消費税等の増減額	△22,982	62,801
その他	122,937	181,946
小計	344,172	557,326
利息及び配当金の受取額	19,116	24,002
利息の支払額	△17,215	△14,429
法人税等の支払額	△49,869	△66,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,203	500,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△609,254	△290,180
無形固定資産の取得による支出	-	△20,000
投資有価証券の取得による支出	△3,017	△3,318
貸付金の回収による収入	2,122	217
保険積立金の解約による収入	-	47,110
その他	△5,350	△249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615,499	△266,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,817	△3,135
長期借入れによる収入	15,921	21,619
長期借入金の返済による支出	△266,569	△525,767
リース債務の返済による支出	△53,151	△55,660
自己株式の取得による支出	△88	△325
配当金の支払額	△61,375	△60,996
セール・アンド・リースバックによる収入	313,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,446	△624,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,303	△20,650
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△343,438	△410,726
現金及び現金同等物の期首残高	6,623,867	5,874,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,280,429	5,464,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。